第８期　　決　算　公　告

（　自　2021 年７月　１日
　　至　2022 年６月 30 日　）

株式会社３ミニッツ

貸借対照表

（2022 年 6 月 30 日現在）

（単位：千円）

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	**435,913**	**流動負債**	**48,108**
現金及び預金	103,895	買掛金	19,711
受取手形	24,013	未払金	15,028
売掛金	58,861	未払費用	364
仕掛品	2,126	未払法人税等	530
前払費用	2,361	未払消費税	3,726
未収入金	244,832	前受金	3,740
貸倒引当金（短期）	△ 177	預り金	1,164
固定資産	**479**	賞与引当金	3,841
有形固定資産	**0**	**固定負債**	**1,225,000**
工具、器具及び備品	0	長期借入金	1,225,000
無形固定資産	**479**	**負債合計**	**1,273,108**
ソフトウェア	479	**純資産の部**	
投資その他の資産	0	**株主資本**	**△ 836,715**
投資有価証券	0	**資本金**	**100,000**
		資本剰余金	**50,000**
		資本準備金	50,000
		利益剰余金	**△ 986,715**
		その他利益剰余金	△ 986,715
		繰越利益剰余金	△ 986,715
		純資産合計	**△ 836,715**
資産合計	**436,392**	**負債純資産合計**	**436,392**

個別注記表

１．重要な会計方針に係る事項に関する注記

（１） 資産の評価基準及び評価方法

仕掛品

個別法（貸借対照表価額は収益性の低下による簿価切下げの方法により算定）

（２） 固定資産の減価償却の方法

① 有形固定資産

定率法を採用しております。

なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

工具器具備品　３年～８年

② 無形固定資産

自社利用のソフトウェアについては社内における見込利用可能期間（３～５年）に基づく定額法を採用しております。

（３） 収益及び費用の計上基準

「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号　2020年３月31日。以下「収益認識会計基準」という。）等を当事業年度の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

（４） 重要な引当金の計上基準

① 賞与引当金

従業員に対して支給する賞与の支出に充てるため、支給見込額の当事業年度負担額を計上しております。

② 貸倒引当金

債権の貸倒による損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

（５） その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

連結納税制度の適用

連結納税制度を適用しております。

２．当期純損益金額

当期純利益　218,305千円

以上